

(公社) 日本技術士会防災会議 (平成 26 年広島豪雨災害) 現地派遣調査
【速報】

■日時：2014 年 8 月 31 日(日)7:30～15:00

■調査場所：広島市安佐南区八木 3 丁目・4 丁目地区

■団員：

- ・山下 祐一(建設、応用理学、総合技術監理)広島県 : 団長
- ・古川 智(建設) 広島県 : 副団長
- ・加治家 隆史(応用理学)広島県
- ・小林 昇(応用理学)岡山県
- ・芳西 修(応用理学)山口県

*調査団は、愛媛大学の調査団 に同行した。

■調査工程：

- ・広島駅集合 7:30
- ・愛媛大学の調査団と合流 8:00
- ・八木 3 丁目梅林小学校 (避難所) の調査開始 9:00
- ・八木 3 丁目県営緑丘住宅付近の調査開始 9:30
- ・八木 4 丁目八木ヶ丘団地付近の調査開始 13:00
- ・調査終了 15:00

■調査結果

1. 梅林小学校 (避難所)

8/31 現在 517 人の避難者が避難しており、被災地では最も避難者の多い避難所となっていた。

2. 八木 3 丁目県営緑丘住宅付近

土石流 (花崗岩、真砂) が下流の住宅を直撃し、最も被災者が多くなった地区である。まだ、立ち入り禁止箇所があり、上流部への調査は隣の溪流から迂回して入った。写真に示すように 2m を越す巨岩が流下している。

3. 八木 4 丁目八木ヶ丘団地付近

上流に治山堰堤があるが、一部袖部が破壊され、流下した土石流が下流の住宅を直撃した。堆積岩の礫が多く流下していた。

■調査上の留意点

- ・技術士会から団員の傷害保険に加入した。
- ・技術士会の腕章を装着した。



写真 1 調査団メンバー



写真 2 梅林小学校 (避難所)



写真 3 八木 3 丁目県営緑丘住宅付近



写真 4 八木 4 丁目八木ヶ丘団地付近